

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	「時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守る」プロジェクト		実施期間	平成30年度	テーマ	安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市の人口は平成27年（国勢調査）で約84,000人となっており、5年間で約4,000人が減少している状況にある。また、世帯数の減少は約800世帯に留まるなど、核家族化が急速に進行している。</p> <p>さらに、夫婦共働きの進行、未婚率の上昇、高齢者だけの世帯の増加など、ライフスタイルの多様化により社会を取り巻く環境が変わる中で、自助機能が脆弱化し、孤立化・孤独化するケースが生じている。</p> <p>地域コミュニティ、行政、NPO等がそれぞれの役割を担い、支え合う仕組みの構築が急務となっており、市民一人一人が文化的・健康的な生活を送ることができるような環境づくりが必要となっている。</p> <p>また、安心・安全に生活を送れることは、住みよい地域社会づくりを進める上で基本となるものであり、昨今の地震・台風等による自然災害を始め、原子力発電所に隣接する本市にとってはハード・ソフト両面から市民不安を解消するとともに、自助・共助の重要性を理解していただくことが喫緊の課題となっている。</p> <p>災害対策以外にも、少子高齢化やライフスタイルの変化等により、交通・医療などの基本的な生活基盤を維持・確保することが困難となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴の実現に向け、交流人口の拡大とともに取り組まなければならないのが、定住人口の減少抑制である。そのために医療・健康・防災・自然環境など様々な観点から、時代に合った地域づくりにハード・ソフト両面から取り組むことで、住民の利便性を向上させるとともに、安心な暮らしを提供することが必要である。</p> <p>本プロジェクトは、定住環境向上への取組を軸に、都会並みの質の高い地域医療の確保とスマートウェルネスシティの形成、自助・共助による地域コミュニティづくり、危機対応力の強化と強い都市基盤づくり、環境都市創造への取組を展開し、人口減少社会における持続可能な地方都市を目指し実施するものである。</p>							
	総事業費（千円）	70,897	本年度事業費（千円）	70,897	交付金額（千円）	31,157		

プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）				
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	定住環境向上事業	交付対象事業	防犯対策施設整備事業 豊かな森づくり推進事業 イルミネーション設置事業 青葉山ろく公園広場改修 西舞鶴道路整備事業 道路除雪対策事業 救助体制充実強化事業 防火施設整備補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラの設置（3台）</li> <li>間伐材搬出材積：2,190m<sup>3</sup></li> <li>小型除雪機の新規導入2台</li> <li>東西駅前広場各1箇所にイルミネーションを設置（平成30年11月20日～平成31年2月20日まで）N=2箇所</li> <li>青葉山ろく公園ニュースポーツ広場の塗布舗装改修 A=873m<sup>2</sup></li> <li>西舞鶴道路整備事業（用地買収率69%）（H31.3末時点）</li> <li>河川等の増水時に取り残された人々を救出するため6人乗り救命ボートを購入</li> <li>地域の防災力向上及び初期消火体制の構築を図るため、各地域の防火施設整備にかかる費用を補助（15件）</li> </ul>
	スマートウェルネスシティ事業	交付対象事業	休日急病輪番制事業 舞鶴地域医療推進協議会補助 地域づくりサロン活動推進事業 明るいまちづくり事業 健康づくり環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内公的3病院による休日救急診療を当番制で実施 診療科：内科、外科、小児科 実施日数：73日（年末年始含む） 患者数：5,209人（一日平均71.4人）</li> <li>中丹地域医療再生計画に位置付けられている舞鶴地域医療連携機構の役割（機能）を継承する組織として、舞鶴市における地域医療の確保・充実を目的として事業を実施。                          (1) 連携強化                          ◎公的4病院長・医師会長会議を開催                          ・救急輪番体制の決定                          ・さまざまな地域医療の課題についての協議 等</li> <li>(2) 救急医療体制の確保                          ◎救急医療部会を開催                          ・救急輪番体制に係る協議                          ・救急搬送事業についての協議、報告 等</li> <li>(3) 地域医療に係る啓発・情報発信                          ・お医者さんマップ、子どもの急病への対処法パンフレット、訪問歯科診療の案内チラシ、#8000啓発用カード等の配布                          ・休日急病診療所の案内カードの作成、配布                          ・医療現場体験イベントの開催 等</li> <li>地域づくりサロン活動推進事業費補助金（17グループ）</li> <li>明るいまちづくり事業（7件）</li> <li>健康づくり環境整備事業 薬局におけるヘモグロビンA1c測定事業に対し補助金を交付。実施主体は舞鶴薬剤師会、実施期間は1ヶ月間、実施場所は市内5薬局、測定者数は277人。ウォーキングコース案内看板の設置1基、ウォーキングコース距離標看板の設置8基</li> </ul>
	F Mまいづる活用情報発信事業	関連事業	F Mまいづるを活用し、市政の様々な情報を発信する。	FMまいづるのラジオ番組内において、市民に向けた情報発信や、市外に向けた移住・定住のための情報など、市政の推進のための情報を広く発信するための業務委託契約を締結。また、職員も番組ゲストとして出演し直接情報発信を行った。 【放送番組】 ・パブリックラインまいづる（毎週10回 放送合計720回） ・ななこちゃったラジオ（毎週金曜日 職員ゲスト出演50回） ・Bayside Morning Kyoto（職員ゲスト出演20回）
	高齢者外出支援事業	関連事業	75歳以上の高齢者を対象とした公共交通等の利用料金補助	高齢者外出支援事業の利用者数 1534名
	健康づくり推進事業	関連事業	産官学連携による継続して歩く人を増やす仕組みづくりを検討する業務の委託等	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携によるプラットフォームインキュベーション事業</li> <li>大阪産業大学及びトータルフィット塾と連携し、モデル地区の民間企業、NPO、教育機関、自治会等をメンバーとしたワークショップや地域イベント（参加者約500名）を開催。</li> </ul>
	小型家電等収集管理システム導入可能性調査事業	関連事業	小型家電とペットボトル及びプラスチック容器包装類の収集運搬について、IoT技術を活用した管理システムの導入可能性の検証委託	回収ボックスへのIoTセンサーの設置により、リアルタイムに廃棄物の蓄積状況を取得することができ、最適な回収頻度やルートで収集が行えたことにより、収集車両の走行距離の削減などにかかるCO2排出量の削減、作業時間短縮、人件費削減、作業コストの削減などの効果があることが確認された。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：舞鶴市

住民協働事業	地域コミュニティづくり事業	交付対象事業	ボランティアコーディネーター設置事業 地域集会所建設事業 元気なまちづくり事業	・ボランティアコーディネータ設置事業 ボラセン登録者数：970人 コーディネート件数：40件 ・地域集会所建設等事業（新築1件、改修20件） ・元気なまちづくり事業（1件）	
	環境都市創造事業	交付対象事業	環境マネジメントシステムの普及 中小企業環境対策設備導入補助 クリーンキャンペーン実行委員会補助 舞鶴の川と海を美しくする会事業費補助 不法投棄防止パトロールの委託に係る経費	・中小企業環境対策設備導入補助（8件） ・中小企業者の環境マネジメントシステム認証取得に対する補助（0件） ・全市一斉清掃（クリーンキャンペーン） 7月8日（平成30年7月豪雨のため中止） ※一斉清掃日以外の清掃活動参加者数 3,382人 ・美化強調月間の清掃（舞鶴の川と海を美しくする会） 春季 参加人数 約8,100人 秋季 参加人数 約4,600人 ・不法投棄パトロール（6コース、延べ496回）	
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	緊急車両等の進入できない地域の解消		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	9地区
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 平成29年度の時点で、緊急車両等の進入できない地域9地区全て解消済み。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	中心市街地への民間都市機能誘致数（2件）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	0件（平成30年度）
	成果指標の達成状況	-	(左の理由) 旧市民病院跡地利用については、平成28年度にサウンディング型市場調査を実施したほか、随時、民間事業者等にヒアリング等を実施し民間活力の導入に向けた検討を進めている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	田舎体験事業への参加者数（200人）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	192人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) ホームページやメール配信を活用し、体験参加者の増加に努める。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	公共交通の利用者数（196万人）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	197万人（平成30年度）
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 7月豪雨被害や台風24号被害等に見舞われる中で、交通事業者と連携した利用促進策の実施等により、目標数値を達成することができた。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑤	成果指標の目標数値	外出支援事業乗車票購入者数（880名）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	1,534名（バス596名、京都丹後鉄道10名、タクシー928名）
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) タクシー乗車票の利用可能額等を変更したこと等により、購入者数が昨年度比約2倍となった（タクシー単体では約3.5倍）。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑥	成果指標の目標数値	自主防災組織率（80%）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	69%
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 結成率に変化はないが、今年度も新たに4組織が結成されるなど、継続して自主防災組織結成の動きがあるため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑦	成果指標の目標数値	市内事業者の環境マネジメントシステム導入（累計）（新規80件）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	52件（0件）
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 事業所にシステム導入のメリットが十分に理解されていないため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑧	成果指標の目標数値	市制度活用による環境経営への取組事業者数（10事業所）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	8事業所
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 環境経営のメリット等がまだ十分に理解されていないため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑨	成果指標の目標数値	家庭の省エネ相談などの件数（200件）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	29件
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 大型イベントへの出店が少なかったため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	公共交通の利用者数で目標値を達成できた。また外出支援も順調に利用者数を増やしており、年齢や自動車免許の有無に関わらず、自分の意志で移動できる環境が保たれている。しかしながら、環境都市創造事業については各成果指標の達成には至っておらず、取組むメリット等の理解を得られるよう周知に努め、市民や事業所の参加・協力を得られるよう引き続き事業を展開していく。				
※未達成の場合も効果に記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。				
関連事業との連携効果	FMまいつるを活用した情報発信により、市の各種施策への住民理解を深めるとともに、暮らしの情報を発信することで、定住環境の向上の一助となっている。今年度はペットボトルやプラスチック容器包装等の分別回収をモデル的に実施し、環境政策への関心を高めることができた。				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：舞鶴市

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	成果指標としている自主防災組織率は目標には達していないものの、見直しを実施した地域防災計画の配布をはじめ、地域コミュニティづくりの支援や清掃活動の実施などにより、市民の自治意識を高めることができた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	輪番制による休日の救急診療体制の確保や、公的4病院長・医師会長会議を開催するなど連携を深めることを通じて、地域住民の医療ニーズに応えられる環境づくりに努めた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。